

豊中まちづくりで住民のパワーってすごいと感動

自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ 藤本 真里



私は、「住民参画型行政支援型のまちづくり」にこだわって、博物館や公園などをフィールドに仕事をしています。この思いに至ったのは、前職で新人コンサルタントとして、豊中駅前のまちづくりに関わったことに始まります。仲間に将来の夢を語り、行動する商業者のパワーや、ひたむきに黒子となって、商業者を支援する市役所メンバーの姿に、「これがまちづくり!」と感動しました。そのプロセスをまとめた報告書が「まちづくり資料集 1992 店もまちも仲間とともに」です。リーダーに「活動のはじまり」「計画づくりの現場」「行政や専門家との協働」「商売とまちづくり」等々のテーマでヒアリングし、それぞれに関係する専門家のアドバイスなども併記して、その後の人たちにも参考になるように配慮しました。行政の役割や制度を解説したほか、リーダーたちの奥さん、専門家からのメッセージも掲載しました。リーダーたちの心の変化、市役所メンバーの心意気まで伝わる資料集となりました。この編集作業を通じて、当時の豊中市政

策推進部まちづくり支援室の芦田室長から自筆の感謝状をいただきました。コンサルタントとしては、まだまだヒヨコで大したことをしたわけではありませんが、関係者の話を聞くことが楽しく、住民、行政、専門家の役割を現場から学び、やる気を出したヒヨコへの期待の感謝状だったように思います。

